

第3学年2組 国語科学習指導案

平成29年11月14日(火)4校時

場所 西郷小学校 3年2組教室

1. 単元名 食べ物のひみつブックをつくろう
～せつめいのくふうについて話し合おう～
～れいをあげてせつめいしよう～

2. 教材名 「すがたをかえる大豆」(光村図書：3年)
「食べ物のひみつを教えます」(光村図書：3年)

3. 単元の目標

○食べ物について書かれた読み物や図鑑等に興味を持ち、進んで読んだり書いたりしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

○中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に読むことができる。

【読む能力】

○本で調べたことをもとに、事例を挙げながら段落相互の関係に注意して説明する文章を書くことができる。

【書く能力】

○文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べることができる。

【言語についての知識・理解・技能】

4. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
食べ物について書かれた読み物や図鑑等に興味を持ち、進んで読んだり書いたりしようとしている。	中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら文章の内容を的確に読んでいる。	本で調べたことをもとに、事例を挙げながら段落相互の関係に注意して説明する文章を書いている。	文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。

5. 基盤

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領において、内容：B書くこと及びC読むことに当たる。

B書くこと(1) イ文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

ウ書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

C読むこと(1) イ目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

エ目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

本単元では、読むことの教材「すがたをかえる大豆」で読み取ったことを活かし、書くことの教材「食べ物のひみつを教えます」につなげ、図書資料を活用して調べたり書いたりする学習活動である。「すがたをかえる大豆」の内容は、普段からよく食べている大豆を使った食べ物、加工食品について書かれており、児童に身近なものとなっている。しかし、加工品には見た目だけでは大豆からできているとわかりにくいものも多く、児童は新しいことを知りながら論理的に読み進められる内容となっている。

「食べ物のひみつを教えます」では、興味をもった食べ物を選び、図書資料を活用し情報収集を行い、「食べ物のひみつブック」を作成する。「すがたをかえる大豆」で学習した文章全体の組み立て方やわかりやすく伝えるための工夫を活かしてまとめていく。本教材は、1学期に学習した「気になる記号」と関連があり、報告文を書く際に「段落」や「まとめり」を確認して文章を書くことを学習している。図書資料から必要な情報を活用して文章を書いたり、わかりやすく説明する文章の書き方を学んだりでき、他教科などにも活かせる単元である。

(2) 指導について

第一次では、「食べ物のひみつブックを作ろう」という単元全体の見通しを持たせる。単元全体の流れを表で確認し、学習活動のゴールをイメージできるようにする。

第二次では、「すがたをかえる大豆」を読み、説明文の内容や文章の構成を捉えていく。読むことへの目的意識を持たせ、説明文の書き方を勉強する。まず、文章全体の構成を確認する。「はじめ」「中」「終わり」の構成になっていること、大切なことは「中」にまとめて書かれていること、どこが「始め」でどこが「中」でどこが「終わり」なのかについて確認をする。

次に、「始め」「中」「終わり」の内容を中心になる文を確認しながら、それぞれのまとまりの大まかな内容と役割を読んでいく。「始め」では、問いについて考えることで、文章全体の話題を捉えられるようにしたい。「中」では、わかりやすく説明するための工夫を読み取ることに重点を置く。また、順番を表す言葉や身近なもの・加工が単純なものから意外なもの・加工が複雑なものという説明の順番について確認する。さらに、写真についても触れ、写真の活用についても学習する。「終わり」では、まとめとして、様々な食べ方の工夫がされてきた理由や筆者の感想が書かれていることをおさえる。その後、わかりやすく説明するための工夫や全体の流れが一目で確認できるように、ワークシートにまとめていく。まとめたものは、説明文を書く時に、確認しながら書いていけるようにする。

説明文を書くことへの意欲付けのために、事前に学校司書と連携し、食べ物に関する本を用意して頂き、並行読書を進めていく。

第三次では、「食べ物のひみつブック」を作成していく。「食べ物のひみつブック」を作ったあと図書館に置き、たくさんの人に見てもらおうということを伝え、目的意識・相手意識を持たせる。図書資料で調べたことを情報カードに書かせる。どのような「くふう」をして何ができるのかを一枚に一つ書くようにし、文章の構成を考えるとときに順番を並び替えながら、考えられるようにする。できた文章を読み合う活動を取り入れ、よりよいものにしていく時間も用意する。その際、付箋を用意し、「わかりやすく説明しているところ」と「アドバイス」を色分けして書かせる。また、漢字や文字が正しく使われているか、句読点、段落は適切か、説明する文章を書くときの工夫など読み合うときの確認事項についても確認する。

本時は、三次の下書きを行う時間であり、情報カードを活用して、食べ物のひみつブックを書いていく。その際、「わかりやすく書くためのポイント」を示して上手に書けるようにしていく。

本校の研究との関わりについて

本校の研究の重点は「児童の情報活用能力を高める」ことである。本単元の中でめざす児童の姿は、「目的に応じて必要な情報を収集し、整理することができる」であり、

本単元では、このようなめざす児童の姿が見られるように以下の工夫を行っていく。

1. 学習意欲が高まる導入の工夫
 - ・「みんなで食べ物ブックを作る」というゴールを設定し、学習計画を立て、見通しを持たせる。
2. 「情報の分類・整理・選択」段階における学習活動の工夫
 - ・食べる工夫と食品名のみを書く簡単な情報カードを活用する。

6. 単元計画(全13時間 本時10/13)

次	時	学習活動	主な支援	評価規準				
				関	読	書	言	評価規準【評価方法】
第一 次	1	○学習課題「食べ物のひみつブックを作る」を設定する。 ○「すがたをかえる大豆」を通読しておおまかな内容を捉える。	・学習課題を提示し、読むことへの目的意識を持たせる。 ・食品を手がかりに、内容の大体を読ませる。	○				大豆がさまざまな食べ方をされていることに関心を持っている。【発言】
第二 次	2	○文章中の表現や言葉を国語辞典を使って調べる。 ○段落分けを確かめ、文章全体の組み立てを捉える。	・特に大豆を加工するときに使われる言葉に着目させる。 ・意味調べはワークシートを用意し、時間をかけずに行う。		○		○	「はじめ」「中」「終わり」の全体構成を捉えている。【ノート・発言】 文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。 【ワークシート】
	3	○「はじめ」と「終わり」を読んで内容を確認める。 ○「問い」がないことについて考え、「はじめ」の役割と文章全体の話題を捉える。	・「こまを楽しむ」等を振り返らせ、問いの文の形を想起させる。 ・「問い」について考えることで文章全体の話題を捉えて読み進めさせる。		○			「問い」を含まない形で話題提示をする「初め」の働きについて理解している。 【ノート・発言】
	4 5	○「中」の部分の内容を確認める。	・説明している順番が意識できるよう写真を用意し、並び替えを行う。 ・大豆を加工するときに使われる言葉に注意しながら、各段落でどんな工夫が書いてあるかを捉えさせる。		○			各段落で述べられる具体例を捉え、中心となる文に着目しながら、内容を整理している。【ノート・発言】
	6	○事例の説明の順番を考えたり、中心文を捉	・事例を挙げる順番や中心文の書き方などが文章		○			「すがたをかえる大豆」をもとに説明の工夫につい

		えたりしながら、「わかりやすく書くためのポイント」についてまとめる。	の工夫であることを捉えさせる。 ・「食べ物のひみつブック」をつくる時に活かせるよう、「わかりやすく書くためのポイント」をまとめさせる。					て話し合い、まとめている。 【話し合い】
第三次	7	○「食べ物のひみつを教えます」の作例を読み、活動のゴールを確認する。 ○調べたい題材を決める。	・文章を範読し、内容をおおまかに捉えさせることで、書く学習に興味をもたせる。 ・「食べ物のひみつブック」を作ったあと図書館に置き、たくさんの人に見てもらおうということを伝え、目的意識・相手意識を持たせる。	○				食べ物について関心を持ち、課題に合わせて調べようとしている。 【ノート・発言】
	8 9	○自分の選んだ題材がどのように姿をかえるのかを調べ、情報カードにまとめる。	・情報カードは、食べる工夫と食品名のみを書くような簡単なものを用意する。 ・調べてわかったことを情報カードに書かせる際には、一枚に一つのことを書くように声掛けをする。			○		本を読んでわかったことを情報カードにまとめている。 【情報カード】

10 本 時	○情報カードの選択・並べ替えを行い、「中」の文章を書く。	<p>・「わかりやすく書くためのポイント」を掲示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「わかりやすく書くためのポイント」</p> <p>○「中」のまとまりに具体的な例を書く。</p> <p>○一つの段落に一つの食べるくふうと食品名を書く。</p> <p>○段落の最初に中心となる文を書く。</p> <p>○説明する順番はかんたんなものからふくざつなものにする。</p> <p>○接続語を使う。</p> <p>○絵や写真を使う。</p> </div> <p>・情報カードを並び替えながら順番を考えさせる。</p>		○	<p>わかりやすく説明する文章のくふうをふまえ、適切な事例を選び、「中」の文章を書いている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>
11	○「はじめ」「終わり」を書き足し、下書きを完成させる。 ○書いた文章を読み合い、よりわかりやすい説明にしていく。	<p>・付箋を用意し、「わかりやすく説明しているところ」と「アドバイス」を色分けして書かせる。</p> <p>・漢字や文字が正しく使われているか、句読点、段落は適切か、説明する文章を書くときの工夫など読み合うときの確認事項を用意する。</p>		○	<p>わかりやすいポイントを意識して、互いに助言をしあったり、上手に説明しているところに気づいたりしている。【付箋・発言】</p>
12	○アドバイスしてもらったことをもとに清書をする。	<p>・清書をする前に、どんな助言を受けたのか、振り返らせ、気をつけることに意識させる。</p> <p>・図書館に置いてたくさんの人に見てもらうものであることを意識させ、丁寧な字で書くよう声かけをする。</p>		○	<p>助言をしてもらったことを活かして清書をしている。【清書】</p>
13	○学習を振り返り、わかりやすく説明するためのポイントをまと	<p>・振り返りを入れることで、学びを定着させる。</p>		○	<p>わかりやすく説明するための工夫について、学習したことをまとめ、これから</p>

	め、今後どのように活かしていくかを考える。						の生活にどう活かすかを考えている。 【ノート・発言】
--	-----------------------	--	--	--	--	--	-------------------------------

7. 本時の学習(10 / 13 時間)

(1) ねらい

適切な事例を選び、わかりやすく説明する文章の書き方をふまえ、「中」の文章を書くことができる。(書く能力)

(2) 展開

	学習活動	○教師の支援 ★評価
導入 5分	1. 音読をする。 ・「いろいろなすがたになる米」を読む。 ・一人読みをする。 2. 本時の学習課題を知る。 情報カードを整理し、「わかりやすく書くためのポイント」を使って「中」の文章を書こう。	○書き方を参考にするために、関連するところを声に出して読む時間を設ける。 ○自分たちの書いた「食べ物のひみつブック」を図書館に置いてたくさんの人に読んでもらうことを伝え、目的意識・相手意識を持たせる。
展開 35分	3. 教師が作成した事例をもとに、みんなで情報カードの選択・並び替えの仕方を話し合う。 ・どの情報カードを選択し、なぜ選んだか理由を話す。 ・情報カードの順番をどうするか、なぜそうしたのかを話す。 ・これからすることが分かる。 4. 一人一人が情報カードの選択・並び替えを行い、「中」の部分を説明する順番を決める。 ・必要な情報カードを選ぶ。 ・情報カードの順番を決め、ワークシートに貼る。 5. 「わかりやすく書くためのポイント」に気をつけて「中」の部分の下書きを書く。	○教師が調べて作成した大きめの情報カードを黒板に提示する。 ○みんなで話し合って選択・並び替えを行うことで、活動の見通しを持たせる。 ○複数の情報カードの中から2～3つに絞らせるなど、そろえたい条件を伝える。 ○情報カードの選択・並び替えをしたら、「わかりやすく書くためのポイント」に気をつけて「中」の文章を書くことも伝える。 ○児童がどのように情報カードを整理しているかを机間指導しながら把握し、適宜支援を行う。 ○情報カードを並べて貼ったり、「中」の部分の下書きが書いたりできるワークシートを用意する。 ○「すがたをかえる大豆」や「食べ物のひみつ教えます」の文章を参考にして書くように声かけをする。 ○下書きの書き方に困っている児童には、黒板に貼ってある「わかりやすく書くためのポイント」を見るように助言する。 ○「わかりやすく書くためのポイント」を一つでも多く取り入れて書くとよいことを助言する。

	<p>「わかりやすく書くためのポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「中」の部分に具体的な例を書く。 ○一つの段落に一つの食べるためのくふうと食品名を書く。 ○段落の最初に中心となる文を書く。 ○説明する順番はかんたんなものからふくぎつなものにする。 ○接続語を使う。 ○絵や写真を入れる。 	<p>★わかりやすく説明する文章の書き方をふまえ、「中」の文章を書いている。【書】(ワークシート)</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>6. 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてが達成できたか発表する。 ・どこに気をつけたか発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○下書きを上手に書いている児童の文章をみんなに読んで紹介する。 ○ねらいに関わる児童のよかったところをほめる。 ○学習計画表を見て、次の時間は「はじめ」「終わり」を書くことを伝える。

(3) 評価規準

評価の観点	◎十分満足できる	○おおむね満足できる	支援を必要とする場合の手立て
書くこと	「中」の部分で、「わかりやすく書くためのポイント」をすべておさえ、文章を書くことができている。	「中」の部分で「わかりやすく書くためのポイント」を2つ以上おさえ、文章を書くことができている。	情報カードを並び替えるポイントを助言する。 教科書の説明文を参考にして書くよう助言する。

(4) 視点

・「わかりやすく書くためのポイント」を示したことは、「食べ物のひみつブック」の「中」の説明する文章をわかりやすく書く上で有効であったか。